



操作マニュアル Ver5.1.3.6

ジェービーエムエンジニアリング株式会社

目 次

1. データ送信	1
カーソルでファイル名を選択して送信	1
直接ファイル名を入力して送信	2
繰り返し送信	3
オールデータ送信	4
スケジュール送信	5
2. データ受信	7
複数プログラムのデータ受信	8
3. データ表示	9
カーソルでファイル名を選択して表示する	9
直接ファイル名を入力して表示する	10
4. ファイルの表示と並び替え	11
5. ファイルコピー	12
ファイルコピー	12
1 同じファイル名でコピーする	13
2 別のファイル名でコピーする（ファイル名変更）	14
2 ALLコピー	15
6. ファイル削除	17
1 ファイル削除	17
2 ALL削除	20
7. ファイル検索	22
8. マザトロール対話CMT対応	23
9. USBメモリ内のサブディレクトリの選択と設定	23
10. 日時の設定変更	26
11. ディレクトリ変更	27
12. パラメータ	27
13. USBメモリのフォーマット形式	27
14. USBび〜太郎のパラメータ設定	28
15. アラーム表	31
16. USBび〜太郎の主な仕様	32
免責	33
警告	33

USBぴ〜太郎の操作

USBぴ〜太郎は起動（初期表示）してからUSBメモリを挿入してください。
USBぴ〜太郎は512MBの内蔵メモリを持ち、（1－9）のディレクトリと
USBメモリ＝（0）へデータを保存することができます。

詳しい説明・操作については同梱の CDROM をお読みください。

データのバックアップは必ず行なってください。

【データ送信】

USBメモリから工作機械へデータ送信する場合、電源を入れて20秒ほどすると下記「初期表示画面」が表示されます。

USBぴ〜太郎にデータの入った USBメモリを挿入します。

 キーを2度押し  キーを押します。ROOTにカーソルを合わせ  キーを押します。

【初期画面】

送信モード表示→	OUT SEL	>0000	ディレクトリ内の
使用ディレクトリ表示→	1 USB	00002	ファイル名の表示
データ本数の表示→	F: 6	00003	
残り容量の表示→	R: 961.3M	00004	

データ送信にはカーソルでファイル名を選択する方法と直接ファイル名を入力する方法があります。

＜カーソルでファイル名を選択して送信＞

ファイル名：00003を送信するには

 キーを押して、 キーを2回押して

カーソル>を00003に合わせます。

、 キーを押します。 1

OUT	SEL	00001
USB		00002
F: 6		>00003
R: 961.3M		00004

ファイル名：00003の送信待機中の画面になったら工作機械側のデータ入力操作をしてください。

送信待機中

OUT	RUN	P:DEFAULT
USB		00003
00000000		00008234
■		送信文字数

USBぴ〜太郎から工作機械へデータ送信を完了すると*** END ***の表示になりますので



キーを押して初期画面に戻してください。

OUT	END	P:DEFAULT
USB		00003
00008234		00008234
*****	END	*****

<直接ファイル名を入力して送信>

ファイル名：00003を送信するには



キーを押して、キーを押すと

OUT	SEL	00001
USB		00002
F: 6		>00003
R: 961. 3M		00004

ファイル名入力画面に

Input file name: の表示が出ます。

ファイル名：00003を送信するには



キーを入力後、キーを5回続けて押してください。

[5→M→m→N→n→O]順にスクロールしますので入力する文字が出たら



キーを3回、キーを1回入力して

ください。

Input file name:
■

Input file name:
00003 ■



キーを押します。

OUT	STOP	P:DEFAULT
USB		00003
09/07/20		00008234
%		

ファイル名：00003の送信待機中の画面になったら工作機械側のデータ入力操作をしてください。

送信待機中

OUT	RUN	P:DEFAULT
USB		00003
00000000		00008234
■		送信文字数

USBぴ〜太郎から工作機械へデータ送信を完了すると*** END ***の表示になりますので



キーを押して初期画面に戻してください。

OUT	END	P:DEFAULT
USB		00003
00008234		00008234
*****	END	*****

<繰り返し送信>

指定されたプログラムを最後までデータ出力後、終了処理をせず同じデータを繰り返し送信します。
(初期値=0)

パラメータ No.16 : オートリワインド機能を 1 に変更することにより可能

< オールデータ送信 >

オール受信機能の付いている工作機械であること

U S B び〜太郎のフォルダ内かU S B メモリ内にあるプログラムをオールデータ送信します。

但し、工作機械にオール受信機能がついていることとメモリの空き容量があること
オール受信機能が付いていない工作機械の場合、1 本のファイルの中にまとめて入ります。



キーに続いて



キーを押してください。

カーソルが最下段の [ALL] に移動します。

OUT	SEL	O0004
USB		O0005
F: 7		O0006
R: 961. 3M		>[ALL]



、



キーを押します。

データ受信の待機画面になりましたら
工作機械からデータ受信操作をしてください。

OUT	RUN	P:DEFAULT
USB		O0003 00
00000000		008234
■		

U S B び〜太郎から工作機械へデータ送信を
完了すると*** END ***の表示になりますので



キーを押して初期画面に戻してください。

OUT	END	P:DEFAULT
USB		O0006
000689486		000689486
*****	END	*****

<スケジュール送信>

※バッファのない古い工作機械や機械の仕様等で正常に送信出来ない場合があります。

USBぴ〜太郎のフォルダ内かUSBメモリ内にある複数ファイルを指定した順に1本のプログラムに連結して送信します。先頭の%と末尾のM30・%はそのまま中間にある(M02、M30、%)は削除して送工作機械信します。

*本数に制限はありません。

【初期画面】

送信モード表示→	OUT SEL > O0001	ディレクトリ内の ファイル名の表示
指定ディレクトリ表示→	USB O0002	
データ本数の表示→	F: 6 O0003	
残り容量の表示→	R: 3.7G O0004	

送信モードからキーを押して、スケジュール送信モードにします。

スケジュール送信モード表示→

SCHEDULE	> O0001
USB	O0002
F: 6	O0003
R: 3.7G	O0004

ファイル名: O0001, O0002, O0003 をスケジュール送信するには

キーをファイル名: O0001 に合わせてキーを押します。

スケジュールリングされたら*印が付きます。

ファイル名: O0002 と O0003 に、キーでスケジュールリングします。

SCHEDULE	*	> O0001
USB	*	O0002
F: 6	*	O0003
R: 3.7G		O0004

スケジューリングが確定したら  キーを押します。

OUT	STOP	P:DEFAULT
U S B		SCHEDULE
[1] 00001		



キーを押すと左下に [2] 00002

[3] 00003 の確認表示が出ます。

それであれば  キーを押して送信待機状態にして工作機械側のデータ入力操作をしてください。

訂正、変更するには  キーを押してやり直してください。

【データ受信】

工作機械からUSBメモリへデータを受信する場合、電源を入れて20秒ほどすると下記の画面が表示されます。

USBぴ〜太郎にデータの入ったUSBメモリを挿入し  を2度押します。

【初期画面】

送信モード表示→	OUT	SEL	>O0001	ディレクトリ内の ファイル名の表示
指定ディレクトリ表示→	USB		O0002	
データ本数の表示→	F: 6		O0003	
残り容量の表示→	R: 961.3M		O0004	

ファイル名：O1000を受信するには



キーを押してください。

表示が受信モード・・・IN

データ本数・・・7に変わります。

IN	SEL	>O0001
USB		O0002
F: 7		O0003
R: 961.3M		O0004

続いて  キーを押すとファイル名入力画面に

Input file name: の表示が出ます。

Input file name:

■



キーを入力後、



キーを5回続けて押して

ください。

[5→M→m→N→n→O]順にスクロールしますのでOの文字が表示したら



キー入力後、



キーを3回入力して



、キーを押します。

Input file name:

O1000■

データ受信の待機画面になりましたら
工作機械からデータ送信操作をしてください。

工作機械からUSBへ太郎へデータ送信を
完了すると*** END ***の表示になりますので



キーを押して初期画面に戻してください。

IN	RUN	P:DEFAULT
USB		O1000
00000000		New File
■		
IN	END	P:DEFAULT
USB		O1000
00008234		New File
*****	END	*****

*ディレクトリ内に同名ファイルが既に存在する時は、Over write?
[Yes] Noの表示が出てきます。上書きする時は[Yes] しない時は[No] を



、 キーで選択して キーで決定してください。

＜複数プログラムのデータ受信＞ FANUC形式（O番号に続いて4桁数字）のみ

工作機械のメモリ内にあるプログラムを複数出力、もしくはオール出力されたものを
1プログラムずつ分けて保存し、保存したプログラムを1本ずつ送信する事ができます。



キーに続いて  キーを押してください。

カーソルが最下段の[ALL]に移動します。

IN	SEL	O0004
USB		O0005
F: 7		O0006
R: 961.3M		>[ALL]



、 キーを押します。

データ受信の待機画面になりましたら
工作機械からデータ送信操作をしてください。

IN	RUN	P:DEFAULT
USB		ALL IN
0		
■		

工作機械からUSBへ太郎へデータ送信を完了すると*** END ***の表示になりますので



キーを押して初期画面に戻してください。

IN	END	P:DEFAULT
USB		ALL IN
000689486		
*****	END	*****

【データ表示】

＜カーソルでファイル名を選択して表示する＞

ファイル名：00003をデータ表示するには初期画面から



キーでカーソル＞を00003に合わせます。

OUT	SEL	00001
USB		00002
F: 6		>00003
R: 961.3M		00004



キーを押します。

指定ディレクトリ →
データの保存日 →
データの先頭行 →

OUT	STOP	P:DEFAULT
USB		00003
09/07/20		00008234
%		

ディレクトリ内の
←ファイル名
←データの文字数

USBメモリ内のファイル名

：00003の先頭行が表示されます。（例 % ）



キーを続けて押すと2行目、3行目・・・最終行まで表示します。



キーで逆戻り、



キーで最終行へジャンプします。

再度、



キーを押すと先頭行へ戻ります。

<直接ファイル名を入力して表示する>

ファイル名：00003をデータ表示するには初期画面から



キーを押します。 ファイル名入力画面に

OUT	SEL	00001
USB		00002
F: 6		>00003
R: 961.3M		00004

Input file name: の表示が出ます。

ファイル名：00003をキー入力するには



キーを入力後、



キーを5回続けて押して
ください。

[5→M→m→N→n→O]順にスクロールしますので入力する文字が出たら



キーを3回、



キーを1回入力して

Input file name:



Input file name:

00003 ■



キーを押します。

USBメモリ内のファイル名：00003の

先頭行が表示されます。（例 % ）

OUT	STOP	P:DEFAULT
USB		00003
09/07/20		00008234
%		



キーを続けて押すと2行目、3行目・・・最終行まで表示します。



キーで逆戻り、



キーで最終行へジャンプします。

再度、



キーを押すと先頭行へ戻ります。



キーで横移動も可

【ファイル表示】

< 8 文字以上のファイル名の表示確認 >

ファイル名：1 2 3 4 5 6 7 8 A B の 8 文字目以降の A B を表示する場合



キーでファイル名：1 2 3 4 5 6 7 8 の位置に合わせます。

OUT	SEL	O0001
USB		O0002
F: 6		>12345678
R: 961. 3M		O0004



キーを押すたびに 1 文字ずつ右に移動します。



キーを押すと左に 1 文字ずつ移動します。

【ファイルの並び替え】

指定されたディレクトリ内のファイル表示の並び替えをします。

数字、アルファベットの順に「降順・昇順・元に戻す」ことができます。



送信モード、受信モードを選んでください。

画面右に表示されますデータ本数・・・1 0 0 本の場合 (O0001～O0100)



キー：昇順を押します

昇順 (数字 0～9、→アルファベット A～Z)

OUT	SEL	O0001
USB		O0002
F:100		O0003
R: 961. 3M		O0004



キー：降順を押します。

降順 (アルファベット Z～A、→数字 9～1)

OUT	SEL	O0100
USB		O0099
F:100		O0098
R: 961. 3M		O0097



キー：元に戻る

【ファイルコピー】

ファイルコピーには1ファイルコピーとディレクトリまるごとALLコピーがあります。

< 1 ファイルコピー >

例 USBメモリ内の00001をディレクトリ9（DATA-9）にコピーします。

コピー元：USBメモリ（ディレクトリ=0）を選択します。



キーを2度押し

Drive No. ? (0-9) の表示がでたら

OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ? (0 - 9)		



コピー元を押しROOTで



キーを押下します：USBメモリ（ディレクトリ=0）を選択します。



キーを押します。

コピーモード→

コピー元→

COPY	SEL1	>00001
*USB		00002
		00003
		00004



キーでカーソル>を00001に合わせます。



キーを押します。

コピー先→

COPY	SEL2	>00001
USB		00002
*USB		00003
		00004

コピー先：SEL2（*USB）を
ディレクトリ9（DATA-9）に変更します。



キーを2度押し Drive No. ? (0-9) の表示がでたら

OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ? (0 - 9)		

2. 別のファイル名でコピーする場合（例 ファイル名：O 1 2 3 4）

ファイル名：O 0 0 0 1をO 1 2 3 4に名前変更してコピーします。

ファイル名：O 1 2 3 4をキー入力するには

 キーを入力後、 キーを5回続けて押してください。[5→M→m→N→n→O]順にスクロールしますので入力する文字が出たら

、、、 キーを入力して

Input file name:

O1234 ■

 キーを押、します。

コピー元→

コピー先→

COPY STOP P:DEFAULT

USB

O0001

DATA-9

O1234

コピー元：USBメモリ ファイル名：O 0 0 0 1を

コピー先：DATA-9へ ファイル名：O 1 2 3 4でコピーします。

*確認して良かったら  キーを押します。
完了すると*** END ***の表示になりますので

COPY END P:DEFAULT

USB

O0001

DATA-9

O1234

END

 リセット

キーを押して初期画面に戻してください。

*良くないときは  キーを押してやり直してください。

＜ALLコピー＞ ファイル本数や1本のデータ容量が大きい場合、時間がかかります。例 USBメモリ内のデータ全てをディレクトリ9（DATA-9）にコピーします。
コピー元：USBメモリ（ディレクトリ=0）を選択します。



キーを2度押し、

Drive No. ? (0-9) の表示がでたら

OUT DRV P:DEFAULT

Drive No. ? (0 - 9)



キー コピー元を押し ROOTで



キー

: USBメモリ（ディレクトリ=0）を
選択します。

データ本数→

OUT	SEL	>00001
USB		00002
F:100		00003
R: 961.3M		00004



キーを押します。

コピーモード→

コピー元→

COPY	SEL1	>00001
*USB		00002
		00003
		00004



キーを押します。

COPY	SEL1	>00098
*USB		00099
		00100
		> [ALL]



キーを押します。

コピー先→

COPY	SEL2	>00001
USB		00002
*USB		00003
		00004

コピー先:SEL2（*USB）を
ディレクトリ9（DATA-9）に変更します。



キーを2度押し。

Drive No. ? (0-9) の表示がでたら

OUT DRV P:DEFAULT

Drive No. ? (0 - 9)



コピー先を押し。 : DATA-9) を選択し

ROOTで



キーを押します。

コピー先→

```
COPY  SEL2
USB      Not Found
* DATA-9
```



キーを押します。

コピー元→

コピー先→

```
COPY  STOP P:DEFAULT
USB      ALL COPY
DATA-9
```

コピー元 : USBメモリ内のデータ全て

コピー先 : DATA-9へ ALLコピーします。



* 確認して良かったら キーを押します。

完了すると*** END ***の表示になりますので

```
COPY  END  P:DEFAULT
USB      ALL COPY
DATA-9
*****  END  *****
```



キーを押して初期画面に戻してください。



* 良くないときは キーを押してやり直してください。

【ファイル削除】

ファイル削除には1ファイル削除とディレクトリまるごとALL削除があります。

< 1 ファイル削除 >

1. カーソルでファイル名を選択して削除する場合

例 USBメモリ内のファイル名：00001を削除します。



キーを2度押し、

Drive No. ? (0 - 9) の表示がでたら

OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ? (0 - 9)		



キーを押し ROOTで



キーを押します。

: USBメモリ (ディレクトリ=0) を
選択します。

OUT	SEL	>00001
USB		00002
F: 6		00003
R: 961.3M		00004

削除モード →



キーを押し、



キーで

カーソル>を00001に合わせて

DEL	SEL	00001
USB		00002
		00003
		00004



キーを押して、

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		00001
09/07/20		37628
%		



キーを押します。

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		00001
09/07/20		37628
Sure?	[Yes]	No

削除する場合は

[Yes]でそのまま  キーを押してください。

削除しない時は  キーを押して

[No]にし  てキーを押して
やり直してください。

DEL	END	P:DEFAULT
USB		00001
09/07/20		37628
*****	END	*****

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		00001
09/07/20		37628
Sure?	Yes	[No]

2. 直接ファイル名を入力して削除する場合

 キーを2度押し、
Drive No. ? (0 - 9) の表示がでたら

OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ? (0 - 9)		

 キーを押し ROOTで  キーを押し
: USBメモリ (ディレクトリ=0) を
選択します。

OUT	SEL	>00001
USB		00002
F: 6		00003
R: 961.3M		00004

削除モード →

 キーを押します。

DEL	SELL	00001
USB		00002
		00003
		00004



キーを押して ファイル名入力画面に

Input file name: の表示が出たら
ファイル名: O O O O 1 をキー入力してください。

ファイル名: O O O O 1 をキー入力するには



キーを入力後、 キーを 5 回続けて押してください。[5→M→
m→N→n→O]順にスクロールしますので入力する文字が出たら



キーを 3 回、 キーを 1 回入力して



キーを押し



キーを押します。

削除する場合は

[Yes]でそのまま キーを押してください。

削除しない時は キーを押して

[No]にして キーを押してやり直してください。

Input file name:



Input file name:

O0001

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		O0001
09/07/20		37628
%		

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		O0001
09/07/20		37628
Sure?	[Yes]	No

DEL	END	P:DEFAULT
USB		O0001
09/07/20		37628
*****	END	*****

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		O0001
09/07/20		37628
Sure?	Yes	[No]

<ALL削除>

例 USBメモリ内のデータ全てを削除します。



キーを2度押し

Drive No. ? (0-9) の表示がでたら

OUT DRV P:DEFAULT

Drive No. ? (0 - 9)



キーを押し ROOTで



キーを押します。

: USBメモリ (ディレクトリ=0) を
選択します。

OUT SEL >O0001

USB O0002

F:100 O0003

R: 961.3M O0004

削除モード→



キーを押し、

DELL SEL > O0001

USB O0002

O0003

O0004



キーを押すとカーソルが [ALL]に移動します。

DEL SEL O0098

USB O0099

O0100

> [ALL]



キーを押すと、ALL削除をしますか?と
表示が出ますので

DEL SEL O0098

USB O0099

O0100

DEL ALL? [Yes] No

削除する場合は



[Yes]でそのまま

ALL DELの表示になったら

20

DEL STOP P:DEFAULT

USB ALL DEL



キーを押します。

* ALL 削除する場合は



[Yes]でそのままキーを押してください。

完了すると*** END ***の表示になりますので

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		ALL DEL
Sure?	[Yes]	No



キーを押して初期画面に戻してください。



* 削除しない時はキーを押して



[No]にしてキーを押して

やり直してください。

DEL	END	P:DEFAULT
USB		O0001
09/07/20		37628
*****	END	*****

DEL	STOP	P:DEFAULT
USB		O0001
09/07/20		37628
Sure?	Yes	[No]

【ファイル検索】

USBび〜太郎の内蔵ディスクやUSBメモリにはたくさんのファイルが保存できます。
どこへ保存したのかを探すのにこの検索機能が便利です。

ファイル名：ABCを検索するには初期画面から



キーを押すと検索（Filter: ■）が表示されます。

Filter: ABC ■



ABCを入力後、キーを押します。

ABCの名前の付いたファイル名が画面上に表示されます。

（USBメモリ内の検索）



キー2度押し



キーを押します

（DATA-1内の検索）



キー2度押し



キーを押します

〈検索を解除する場合は〉



キーを押して検索文字を



キーで削除して



キーを押してください。

【マザトロール対話CMT対応】 Ver 4. 5. 10から

MAZAKマザトロール対話データ（CMT）の入出力ができます。

リモート機能には対応していません。

（T-1/M-1から………640T/640M）とのロード（入力）、セーブ（出力）機能に対応します。

*マザトロールT-1：パラメータをMZ-T1M1に設定します。

*マザトロールT-1以外の機種：MZ-T2M2に設定します。

マザトロール対話専用パラメータ(MZ-T1M1, MZ-T2M2)に設定変更します。

電源をONにして初期画面を表示させます。



キーを押します。

PRM	SEL	>DEFAUUT
		USER096
		USER192
Ver4. 5. 10		USER384



キーでカーソルをMZ-T2M2に合わせます。

PRM	SEL	USER192
		USER384
		MZ-T1M1
Ver4. 5. 10		>MZ-T2M2



キーを押すと、マザトロール対話用のパラメータ内容が表示します。

PRM	STOP	P:MZ-T2M2
>	0	= MZ-T2M2
	1	= 148
	2	= 00



キーを押して設定変更します。

完了すると*** END ***の表示になりますので

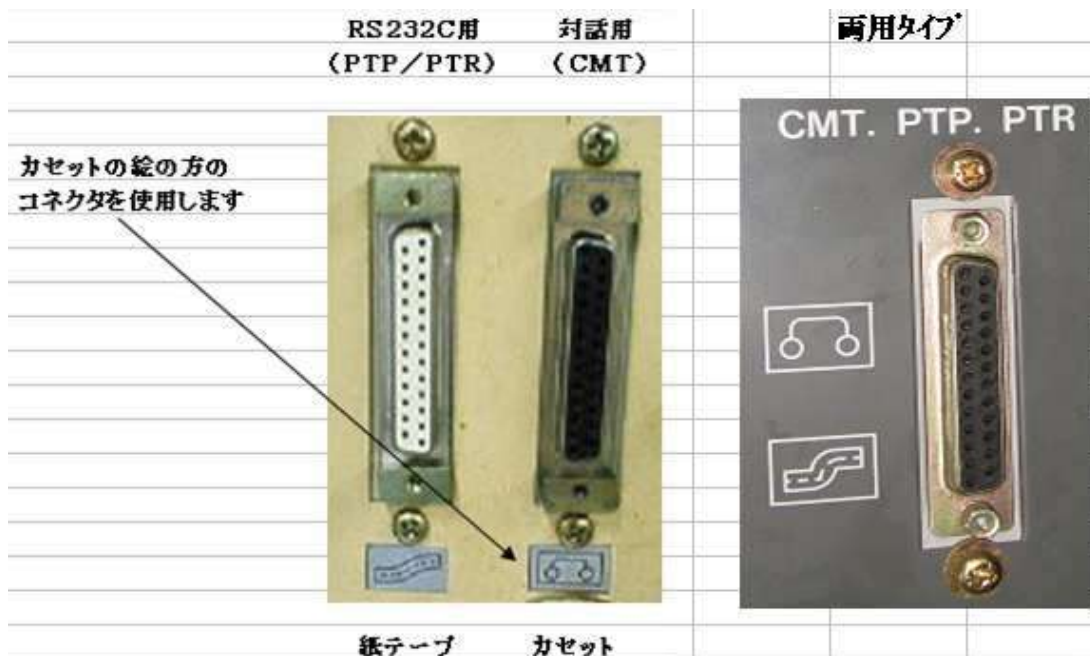
PRM	END	P:MZ-T2M2
***** END *****		



キーを押して初期画面に戻してください。

OUT	SEL	>O0001
USB		O0002
F: 6		O0003
R: 961. 3M		O0004

マザトロール対話(CMT)の通信設定は<DV1>で通信速度:4800ボーレートで設定します。
マザトロール (CMT) はカセットの絵の方を使用します。



注意

1. 対話プログラムは上位互換になっていて古い機種 of 対話プログラムを新しい機種で読み込みはできますが逆はできません。
2. 工作機械に上記のDB 25コネクタが付いていない機種は通信できません。
USBポートしか付いていない機種はメーカーオプション：Bプロトコルが必要です。
(ジェービーエムエンジニアリングでは対応してません)
詳しい説明はマザックテクニカルセンターへ問い合わせてください。

【ディレクトリ:フォルダについて】

U S B び〜太郎 Ver5. 1. 3. 6からキー操作でサブディレクトリでの読み込み／書き込みができるようになりました。

*注意点として

- ①U S B び〜太郎本体でディレクトリ：フォルダ作成はできません。
- ②ディレクトリ名はアルファベット、数字、記号以外は表示できません。
(平仮名、カタカナ、漢字は????や文字化けして読めません)
- ③ディレクトリ内のプログラムの1 ファイルコピー、A L L コピーはできますがディレクトリ丸ごとコピーはできません。

U S B メモリのデータがサブディレクトリTEST1、TEST2、TEST3にある場合

ファイル選択モードの時に、キーを押すと次のような画面になります。

現在のディレクトリ→

[DIR]	>	System Vo
U S B		TEST1
ROOT		TEST2
		TEST3

[DIR]	>	System Vo
U S B		TEST1
ROOT		TEST2
		TEST3



キーでカーソルをサブディレクトリ TEST1 に下げて



キーを押すと次のような画面になり入出力操作ができます。

OUT SEL	>	O 0 0 0 1
U S B		O 0 0 0 2
F: 6		O 0 0 0 3
R: 3. 7 G		O 0 0 0 4



キーを押せばルートに戻す。

【日時の設定変更】

USBぴ〜太郎内部の日付、時間等がズレた場合は設定してください。



キーを押し、



キーでカーソルを

[DATE] に合わせて



キーを押します。

変更箇所へ



キーで< >を移動して



キーを押します。

YEAR : 2012を入力し、



を押します。

変更が完了したら



キーを押します。

**** END ****の表示になりますので



キーを押して初期画面に戻してください。

PRM	SEL	MZ-T2M2
		[BCR]
		[NW] Ver
5.1.0.2	>	[DATE]

DATE	<2011>/02/01
TIME	12:00:00
YEAR	: ■

DATE	<2012>/02/01
TIME	12:00:00
***** END *****	

【ディレクトリ変更】 出荷時＝0（U S B）



キーを2度押します。

Drive No. ? (0-9) の表示がでたら
変更したいディレクトリの No.を入力しROOTで



キーを押してください。

OUT	DRV	P:DEFAULT
Drive No. ? (0 - 9)		

【パラメータ】 出荷時＝DEFAULT

通信パラメータは4種類設定済（変更可）

	ボーレート	ストップビット	キャラクタ長	パリティ	コード
1. DEFAULT	4800	2	8	なし	ISO
2. USER096	9600	2	8	なし	ISO
3. USER192	19200	2	8	なし	ISO
4. USER384	38400	2	8	なし	ISO
マザトロール（CMT）仕様					
5. MZ-T1M1	4800	51=T	52=00	53=1	54=0 55=5
6. MZ-T2M2	4800	51=M	52=00	53=1	54=0 55=5

【U S Bメモリのフォーマット形式】

使用できるU S Bメモリのフォーマット形式はF A T / F A T 3 2です。

F A T	ファイル本数	最大512本	最大容量4GB
F A T 3 2	ファイル本数	最大約65535本	最大容量2TB
但し、1ファイル＝4GBまで			（論理値です）

*USBメモリの種類により、再起動が必要なものと使用できないものがあります。

*N T F S、e x F A Tは使用出来ません。

【パラメータ】

- (0) 表示用パラメータ名: パラメータ・セットのニックネーム
USB ぴ〜太郎の表示用に使用
- (1) COMポート: NCとの通信用インターフェイスの選択
COM1又はCOM2
- (2) ボーレート: 1200 - 38400BPSの設定
- (3) ストップビット: 1ビット又は2ビットの選択
- (4) キャラクタ長: 7ビット又は8ビットの選択
- (5) パリティ: NONE / EVEN / ODDの選択
- (6) 文字コード: ISO, EIA, ASCIIの選択
- (7) DC1キャラクターコード: DC1コード (通常 HEX11)
- (8) DC2キャラクターコード: DC2コード (通常 HEX12)
- (9) DC3キャラクターコード: DC3コード (通常 HEX93)
- (10) DC4キャラクターコード: DC4コード (通常 HEX14)
- (11) NULLの挿入: データ出力時先頭にNULLを挿入
- (12) 出力時DC1待ち: データ出力時NCからのDC1を待つて出力開始
- (13) ACKキャラクターコード: データ出力時DC1以外のコードを使用する場合に設定
- (14) 送信開始インターバル: データ出力時DC1を受信後実際にデータ出力するまでの
待機時間(単位ミリ秒)
- (15) 入力時DC2待ち: データ入力時DC2コード以降(DC2は含まない)のデータ
を有効としてファイルを作成する
- (16) オートリワインド: データ出力時の繰り返し動作の設定
- (17) 出力時CTSによる制御: データ出力時のフロー制御設定(DC1 / DC3又はCTS)
- (18) 入力時RTSによる制御: データ入力時のフロー制御設定(DC2 / DC4又はRTS)
- (19) 入力ファイルマーク: データ入力時 作成ファイルのデータ区切りの設定
(DC2 / 4 または %)
- (20) リモートコマンドで"0"の不可: リモートコマンドでファイル名の頭に"0"を付けるかどうか
- (21) データ拡張子: データファイルの拡張子の設定
- (22) サブプログラム呼出キーワード: メインプログラムから呼び出すファイルのキーワード
(例 * -, M98P)
- (23) DSRの無視: データ入出力時相手方のDSRを無視する
- (24) 出力終了時DC3待ち: データ出力終了時NCからのDC3を待つて終了
- (25) %出力パターン: データ出力時データファイル内にある%の出力形式の処理
- (26) リモートコマンドの開始/終了: リモートコマンドの開始と終了の文字列(16進数で記述)
- (27) ファイル名かオーダー順: リモートコマンドでファイル名かオーダー順にするかどうか
- (28) モニタリング機能: オプションのDI/DOを取り付けた時、モニタリング用の
入力接点を使用する場合に設定(USB ぴ〜太郎では
機能しません)
- (29) 立上がり時のオペレーションモード: システム立ち上がり時のオペレーションモード
- (30) 立上がり時のドライブ: システム立ち上がり時のドライブの設定

(31) ディレクトリ表示名[DIR1]:



キーで呼び出すドライブ1のニックネーム
(実際のドライブ / ディレクトリ名は " 41 に設定)

(32) ディレクトリ表示名[DIR2]:



キーで呼び出すドライブ2のニックネーム
(実際のドライブ / ディレクトリ名は " 42 に設定)

(33) ディレクトリ表示名[DIR3]:



キーで呼び出すドライブ3のニックネーム
(実際のドライブ / ディレクトリ名は " 43 に設定)

(34) ディレクトリ表示名[DIR4]:



キーで呼び出すドライブ4のニックネーム
(実際のドライブ / ディレクトリ名は " 44 に設定)

(35) ディレクトリ表示名[DIR5]:



キーで呼び出すドライブ5のニックネーム
(実際のドライブ / ディレクトリ名は " 45 に設定)

(36) ディレクトリ表示名[DIR6]:



キーで呼び出すドライブ6のニックネーム
(実際のドライブ / ディレクトリ名は " 46 に設定)

(37) ディレクトリ表示名[DIR7]:



キーで呼び出すドライブ7のニックネーム
(実際のドライブ / ディレクトリ名は " 47 に設定)

(38) ディレクトリ表示名[DIR8]:



キーで呼び出すドライブ8のニックネーム
(実際のドライブ / ディレクトリ名は " 48 に設定)

(39) ディレクトリ表示名[DIR9]:



キーで呼び出すドライブ9のニックネーム
(実際のドライブ / ディレクトリ名は " 49 に設定)

(40) プレフィックスの無視:

リモートコマンドでファイル名の先頭の0をむしろするかどうか

(41) ディレクトリパス名[DIR1]:



キーで呼び出すドライブ1の実際のパス名

(42) ディレクトリパス名[DIR2]:



キーで呼び出すドライブ2の実際のパス名

(43) ディレクトリパス名[DIR3]:



キーで呼び出すドライブ3の実際のパス名

(44) ディレクトリパス名[DIR4]:



キーで呼び出すドライブ4の実際のパス名

(45) ディレクトリパス名[DIR5]:	 キーで呼び出すドライブ5の実際のパス名
(46) ディレクトリパス名[DIR6]:	 キーで呼び出すドライブ6の実際のパス名
(47) ディレクトリパス名[DIR7]:	 キーで呼び出すドライブ7の実際のパス名
(48) ディレクトリパス名[DIR8]:	 キーで呼び出すドライブ8の実際のパス名
(49) ディレクトリパス名[DIR9]:	 キーで呼び出すドライブ9の実際のパス名
(50) 入力時区切りコードの変換:	入力時の区切りコードを変換するかしないか
(51) プロトコル:	通信手順の選択
(52) [MZ] 応答データ:	応答データの記述
(53) [MZ] 返送データのパリティ:	パリティの有無
(54) [MZ] コマンド応答デレイ	出力時のデレイタイム
(55) [MZ] コマンド応答タイムアウト	タイムアウトに達するまでNCからのコマンドに返答する
(56) ネットワーク設定の表示:	" 57 - " 61の表示 / 非表示
(57) IPアドレスの取得方法:	IPアドレスを自動(DHCP)/手動で取得
(58) IPアドレス:	自局のIPアドレス
(59) ネットマスク:	サブネットマスク
(60) ゲートウェイ:	ゲートウェイサーバのIPアドレス
(61) ネームサーバ:	ネームサーバのIPアドレス

アラーム表

アラーム番号は、どのようなアラームが発生したかを示す番号で【#*#】であらわされます。

番 号	メッセー ジ	内 容	処 置
1	System Error	システムエラー 【1】 設定が未定義 【2】 無効な動作モード 【24】 コマンドラインオプションのエラー 【25】 優先順位の変更に失敗 【63】 予期せぬエラー	再起動 再起動 再起動 再起動 再起動
2	No Memory	メモリ異常 【3】 メモリ不足 (バッファ割り当て) 【4】 メモリ不足 (文字列の割り当て)	再起動 再起動 再起動
3	Incorrect	パラメータ異常 【23】 パラメータの記述ミス	再起動 再起動
11	Disk Full	【5】 ディスクに空きがない	リセット
12	No Media	【7】 USBメモリが挿入されていない	リセット
13	SMB Error	【8】 ネットワークドライブへ接続できない	リセット
14	Disk Error	【6】 リマウントできない 【9】 ディスクの異常	リセット リセット
15	Fill Error	【10】 ディレクトリを開けなかった 【11】 ディレクトリの読み込み異常 【12】 ディレクトリを変更できなかった 【14】 ファイルを開けなかった 【15】 ファイルのマッピングエラー 【16】 ファイルの状態が読み込めなかった 【17】 通常のファイルではなかった 【32】 書き込みエラー	リセット リセット リセット リセット リセット リセット リセット リセット
16	Not Found	【13】 ファイルが見つからない	リセット
17	Copy Disable	【27】 許可されていないコピー処理	リセット
21	DSR Drop	【20】 DSRが“L”	リセット
22	Nc Error	【21】 サブプログラム呼出キーワードが空 【22】 データブロックの異常 【28】 入力文字異常 【29】 デコードエラー 【30】 バッファメモリ内に不正な文字 【31】 バッファメモリ内の異常	リセット リセット リセット リセット リセット リセット
23	RS232C Error	【18】 シリアルデバイスがオープンできない 【19】 RS232Cの設定値異常 【26】 フロー制御の設定エラー 【35】 パリティエラー 【36】 フレームエラー	リセット リセット リセット リセット リセット

*リセット＝リセットキーを押してください。

*再起動＝異常発生の原因を修正してから再度システムを立ち上げてください

*System Error【63】はUSBび〜太郎のオペレーションシステム(OS)が表示するアラームです。

マルチタスクに同時に動作を行っているため稀にこれらのジョブの負荷が大きく限度を超えた場合に発生する事があります。

USBぴ〜太郎の主な仕様

データディスク容量	組込みフラッシュディスク 512MB (データ領域 約470MB)
インターフェース	RS232C x 1 (1200～38400bps) / USB x 1
ネットワーク	10BASE-T / 100BASE-TX (FTPサーバ機能、 Windows ファイル共有機能、DHCP機能標準組み込み)
ディスプレイ	バックライト付き液晶 20文字 x 4行
キー	ファンクションキー、英数字キー等 (25キー)
機能	データ入出力 (1ファイル / * オールファイルの受信・送信) * FANUC形式 (O番号+4桁でオールパンチ機能の付いている制御装置) 同一ファイルの繰り返し送信 (オートリワインド機能) 1ファイル / オールファイルのコピーと削除 ファイル名表示、プログラム内容表示 (プログラムの先頭から10KB相当) ファイル検索 (Ver 5.1～) パラメータ設定 (操作パネルおよびWebブラウザによる設定) ディレクトリ設定 (最大10個のディレクトリを設定可能) サブプロ展開対応 (M98P/O、G22、CALL、*ー) マザトロール対話 (CMT) のデータ入出力 対応機種: (T-1/M-1から・・・・・・640T/640M) との ロード (入力)、セーブ (出力) 機能に対応します。
電源	電源アダプタ 入力AC100V～AC240V 0.5A
寸法	(D) 40mm x (W) 116mm x (H) 170mm
重量	約800g マグネット足付き
使用条件	温度5～35℃ (保管時: -10～50℃) 湿度20～80% (結露なし) 強い振動、ガス等がないこと
付属品	USBメモリ x 1 RSケーブル x 1 取扱説明書 (CD-ROM 付き) 防塵カバー
オプション	FANUC専用24V供給RSケーブル (別売り)

* 外観及び仕様、付属品を予告なく変更する場合があります。

* 本書に記載されている用語および製品名は、各社の商標または登録商標です。

免責

ジェービーエムエンジニアリング株式会社は本装置の使用に関して発生した如何なるトラブルや損害についても一切の責任を負わないものとします。譬えその可能性について事前に知らされていたり、発生の原因が本装置と思われる場合も同様です。

本装置使用によるリスクはご使用者の側でご負担いただくことになります。

警告

万一、本機器から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、直ちに本機器のスイッチを切り、その後必ず電源アダプターをコンセントから抜いてください。

お客様自身による修理は危険ですので絶対おやめください。
異常状態のまま使用すると火災・感電の原因になります。

異物（水・金属片・液体など）が装置の内部に入った場合は、直ちに本機器の電源を切り、電源アダプターを抜いてください。その後、弊社までご連絡ください。

本機器を勝手に改造しないでください。
付属の専用アダプター以外のものをお使いにならないでください。
故障・火災・感電の原因になります。

お客様による改造、修理をされた場合、弊社では修理を受けかねる場合があります。
また、お客様による誤操作、改造、修理をされ事故にあった場合、弊社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

弊社では、本機器の海外でのご利用は関知いたしておりません。
お客様のご責任のもとでご対処ください。

注意

USB〜太郎は起動（初期表示）してからUSBメモリを挿入してください。
USBメモリの種類によっては電源の再起動が必要なものや使用できないものがあります。
ファイル名の禁則文字 % ¥ / * : ; ? “ < > ‘ . , |

*** 詳細なマニュアル WEB に記載されています。**

USB ひ～太郎操作マニュアル V e r 5.1.3.6 2025. 5.